

□ボティクス

第6回

動力学

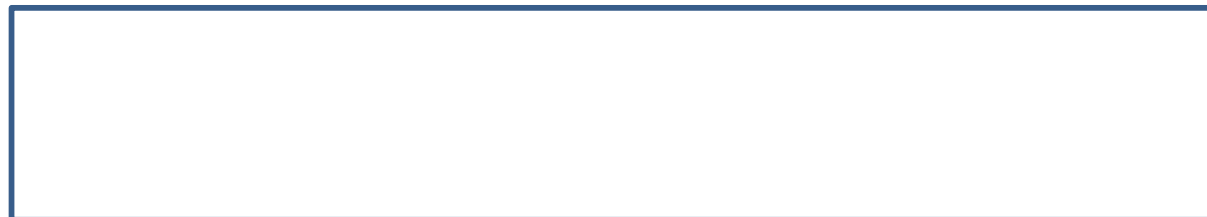
便利なLagrange 運動方程式

李 周浩

# 例題

【問題】 重心周りの慣性モーメント $I_G$ 、質量 $M$ の1リンク回転ロボットがあり、回転軸が重力方向に垂直に置かれているとする。

このロボットアームの運動方程式を求めよ。ただし、水平軸から計測したアームの角度を $\theta$ 、回転軸から重心までの距離を $l_g$ 、重力加速度を $g$ とする。また、モータによる関節モーメント（トルク）を $\tau$ とおけ。



# 準備 ベクトルの微分

- 1) 列ベクトル  $\mathbf{x} = [x_1, x_2, \dots, x_n]^T$  について, その時間微分を以下で定義する.

$$\frac{d\mathbf{x}}{dt} := [\dot{x}_1, \dot{x}_2, \dots, \dot{x}_n]^T$$

- 2) 関数  $f: R^n \rightarrow R$   $y = f(\mathbf{x}), y \in R, \mathbf{x} \in R^n$  について,

$$\frac{\partial f(\mathbf{x})}{\partial \mathbf{x}} := \left[ \frac{\partial f(\mathbf{x})}{\partial x_1}, \frac{\partial f(\mathbf{x})}{\partial x_2}, \dots, \frac{\partial f(\mathbf{x})}{\partial x_n} \right] \in R^{1 \times n}$$

- 3) 偏微分  $\mathbf{f}(\mathbf{x}) = [f_1(\mathbf{x}), f_2(\mathbf{x}), \dots, f_m(\mathbf{x})]^T, y \in R^m, \mathbf{x} \in R^n$   
関数  $\mathbf{f}: R^n \rightarrow R^m$

について, 
$$\frac{\partial \mathbf{f}(\mathbf{x})}{\partial \mathbf{x}} := \begin{bmatrix} \partial f_1 / \partial x_1 & \cdots & \partial f_1 / \partial x_n \\ \cdots & \cdots & \cdots \\ \partial f_m / \partial x_1 & \cdots & \partial f_m / \partial x_n \end{bmatrix} \in R^{m \times n}$$
 ヤコビ行列

# Lagrangeの運動方程式 (p79)

Lagrange関数から運動方程式を導く

Lagrange 関数 (Lagrangian)  $L := K - P$

K:= システム全体の運動エネルギーの総和

P:= システム全体のポテンシャルエネルギーの総和

システムの一般化座標  $q_i$  ← システムの運動を記述するために必要な最低限の座標  
 $q_i$  に対応する一般化力  $\tau_i$   
とすると, システムの運動方程式は, 次式で与えられる.

$$\frac{d}{dt} \left[ \frac{\partial L}{\partial \dot{q}_i} \right] - \frac{\partial L}{\partial q_i} = \tau_i \quad (5.2)$$

# Lagrangeの運動方程式（例 1）

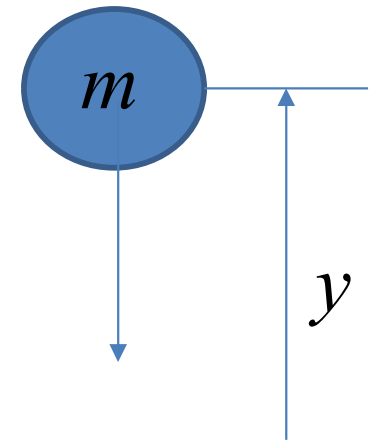
自由落下する質点の運動方程式を，Lagrange法で求めよ.

一般化座標  $y$  [m]

一般化力 質点にかかる力  $f=0$  [N]

運動エネルギー  $K = \frac{1}{2} m \dot{y}^2$

ポテンシャルエネルギー  $P = mgy$



$$\frac{d}{dt} \left[ \frac{\partial L}{\partial \dot{q}_i} \right] - \frac{\partial L}{\partial q_i} = 0$$

$$\frac{d}{dt} (m\dot{y}) - (-mg) = 0$$

$$m\ddot{y} + mg = 0$$

（もし上方向にFの力があれば

$$F = m\ddot{y} + mg \text{ となる）}$$

# Lagrangeの運動方程式（例2）

図のようなMass-spring系の運動方程式をLagrange法で導出せよ.

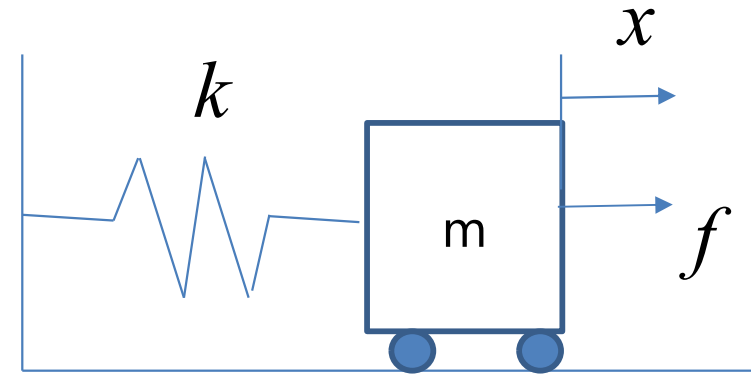
ただし,

$m$ : 質量

$k$ : バネ定数

$x$ : バネの自然長を基準とした  
バネの変位

$f$ : 台車にかかる力  
とする.



運動エネルギー

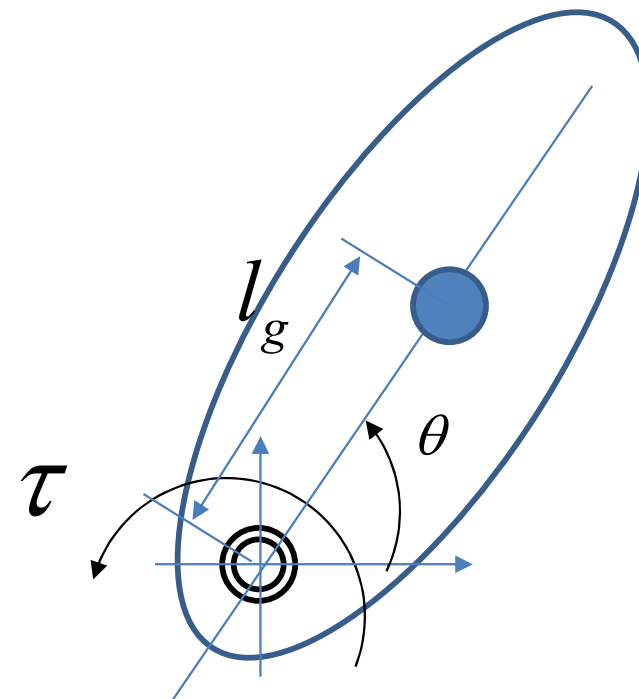
ポテンシャルエネルギー

$$\frac{d}{dt} \left[ \frac{\partial L}{\partial \dot{x}} \right] - \frac{\partial L}{\partial x} = f$$



# Lagrangeの運動方程式（例 3）

図のような 1 リンクロボットの運動方程式を導出せよ．ただし回転軸まわりの慣性モーメントを  $I$ , 回転軸から重心までの距離を  $l_g$ , 水平を基準としたリンクの施政角を  $\theta$  とする．また, 重力加速度を  $g$ , 関節トルクを  $\tau$  として答えよ．



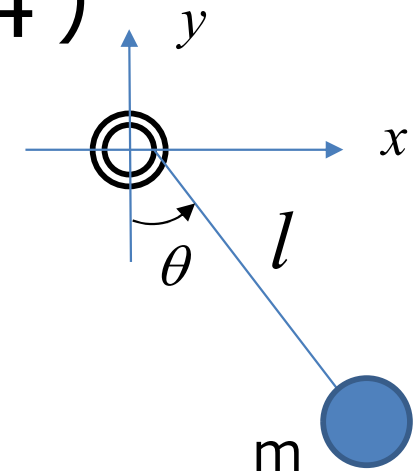
運動エネルギー

ポテンシャルエネルギー

$$\frac{d}{dt} \left[ \frac{\partial L}{\partial \dot{\theta}} \right] - \frac{\partial L}{\partial \theta} = \tau \quad \longrightarrow$$

# Lagrangeの運動方程式 (例 4)

図のような振り子の運動方程式を求めよ. ただし, おもりの質量を $m$ , 回転軸からおもりまでの距離を $l$ , 鉛直下向きから反時計回りに測った角度を $\theta$ とする. 重力加速度を $g$ とせよ.



運動エネルギー

ポテンシャルエネルギー

$$\frac{d}{dt} \left[ \frac{\partial L}{\partial \dot{\theta}} \right] - \frac{\partial L}{\partial \theta} = 0$$



# Lagrangeの運動方程式 (例5.1)

## 2リンクロボットの例

$m_i$  : リンク*i*の質量

$L_i$  : リンク*i*の長さ

$L_{gi}$  :  $\Sigma_i$  座標系原点からリンク*i*の質量中心(重心)までの距離

$\hat{I}_i$  : 質量中心まわりのリンク*i*の慣性モーメント

$g=(0, -g, 0)^T$  : 重力ベクトル

$s_i$  : リンク*i*の重心位置を示す位置ベクトル

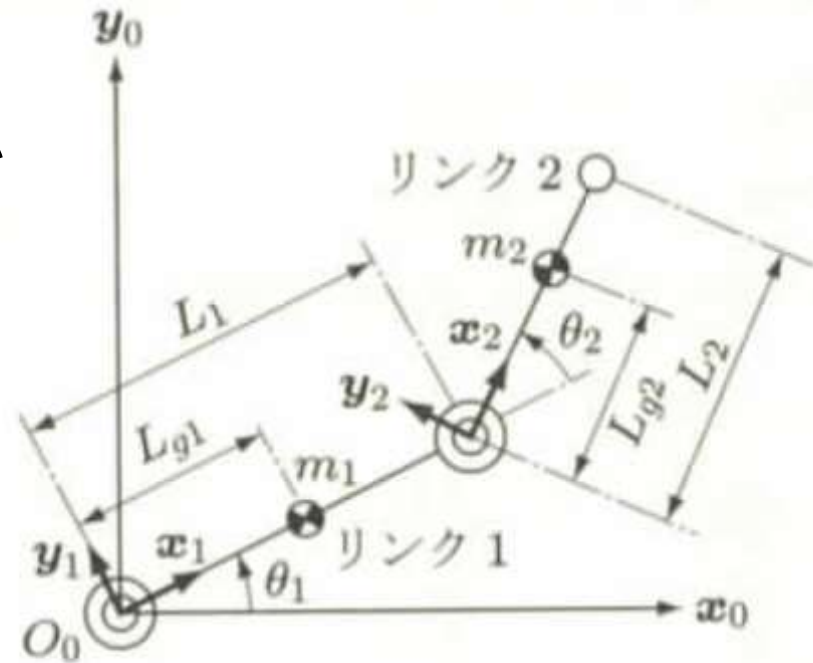


図 5.2 2 関節

## 運動エネルギー

第1リンク 
$$K_1 = \frac{1}{2} m_1 \dot{s}_1^2 + \frac{1}{2} \hat{I}_1 \dot{\theta}_1^2$$

第2リンク 
$$K_2 = \frac{1}{2} m_2 \dot{s}_2^2 + \frac{1}{2} \hat{I}_2 (\dot{\theta}_1 + \dot{\theta}_2)^2$$

重心の並進

重心周りの回転運動

# Lagrangeの運動方程式 (例5.1)

運動エネルギー

第1リンク

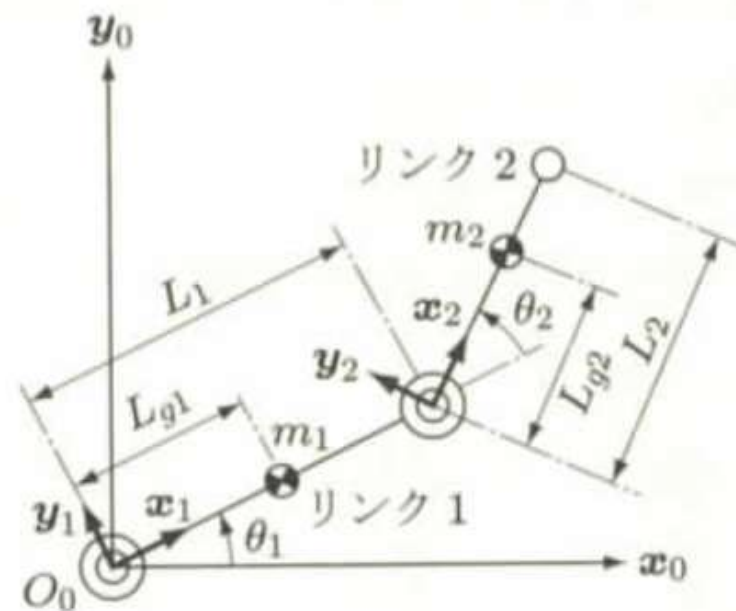
$$K_1 = \frac{1}{2} m_1 \dot{s}_1^2 + \frac{1}{2} \hat{I}_1 \dot{\theta}_1^2$$

第2リンク

$$K_2 = \frac{1}{2} m_2 \dot{s}_2^2 + \frac{1}{2} \hat{I}_2 (\dot{\theta}_1 + \dot{\theta}_2)^2$$

$s_i$  : リンク  $i$  の重心位置を示す

位置ベクトル



$$s_1 := \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} L_{g1} \cos \theta_1 \\ L_{g1} \sin \theta_1 \end{bmatrix}$$

$$\dot{s}_1 = \begin{bmatrix} \dot{x} \\ \dot{y} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -L_{g1} \sin \theta_1 \dot{\theta}_1 \\ L_{g1} \cos \theta_1 \dot{\theta}_1 \end{bmatrix}$$

$$K_1 = \frac{1}{2} (m_1 L_{g1}^2 + \hat{I}_1) \dot{\theta}_1^2$$

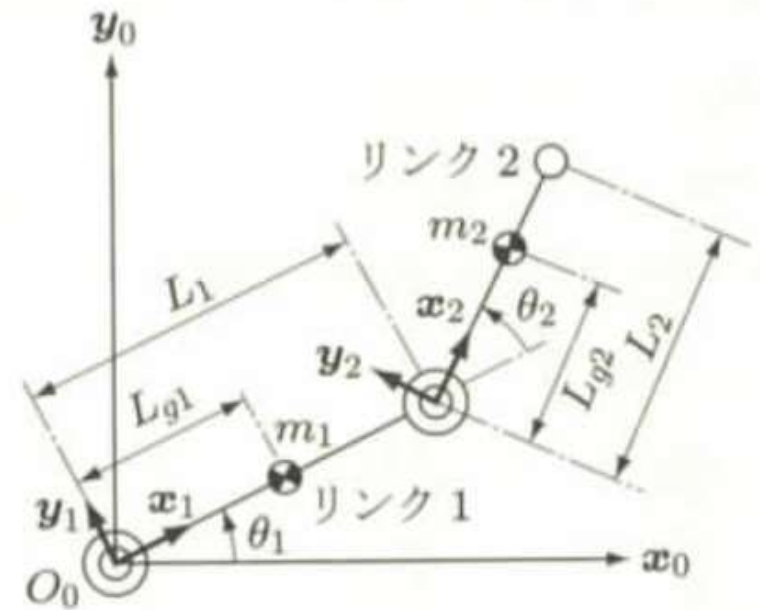
運動エネルギー  
第1リンク  $K_1 = \frac{1}{2} m_1 \dot{s}_1^2 + \frac{1}{2} \hat{I}_1 \dot{\theta}_1^2$

第2リンク  $K_2 = \frac{1}{2} m_2 \dot{s}_2^2 + \frac{1}{2} \hat{I}_2 (\dot{\theta}_1 + \dot{\theta}_2)^2$

$$s_2 := \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} L_1 \cos \theta_1 + L_{g2} \cos(\theta_1 + \theta_2) \\ L_1 \sin \theta_1 + L_{g2} \sin(\theta_1 + \theta_2) \end{bmatrix}$$

$$\dot{s}_2 := \begin{bmatrix} \dot{x} \\ \dot{y} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -L_1 \sin \theta_1 - L_{g2} \sin(\theta_1 + \theta_2) & -L_{g2} \sin(\theta_1 + \theta_2) \\ L_1 \cos \theta_1 + L_{g2} \cos(\theta_1 + \theta_2) & L_{g2} \cos(\theta_1 + \theta_2) \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \dot{\theta}_1 \\ \dot{\theta}_2 \end{bmatrix}$$

$$K_2 = \frac{1}{2} \left( m_2 ((L_1^2 + L_{g2}^2 + 2L_1 L_{g2} \cos \theta_2) \dot{\theta}_1^2 + L_{g2}^2 \dot{\theta}_2^2 + 2(L_{g2}^2 + L_1 L_{g2} \cos \theta_2) \dot{\theta}_1 \dot{\theta}_2) + \hat{I}_2 (\dot{\theta}_1 + \dot{\theta}_2)^2 \right)$$



# ポテンシャルエネルギー

$m_i$  : リンク $i$ の質量

$L_i$  : リンク $i$ の長さ

$L_{gi}$  :  $\Sigma_i$  座標系原点からリンク $i$ の質量中心  
(重心) までの距離

$\hat{I}_i$  : 質量中心まわりのリンク $i$ の  
慣性モーメント

$g=(0, -g, 0)^T$  : 重力ベクトル

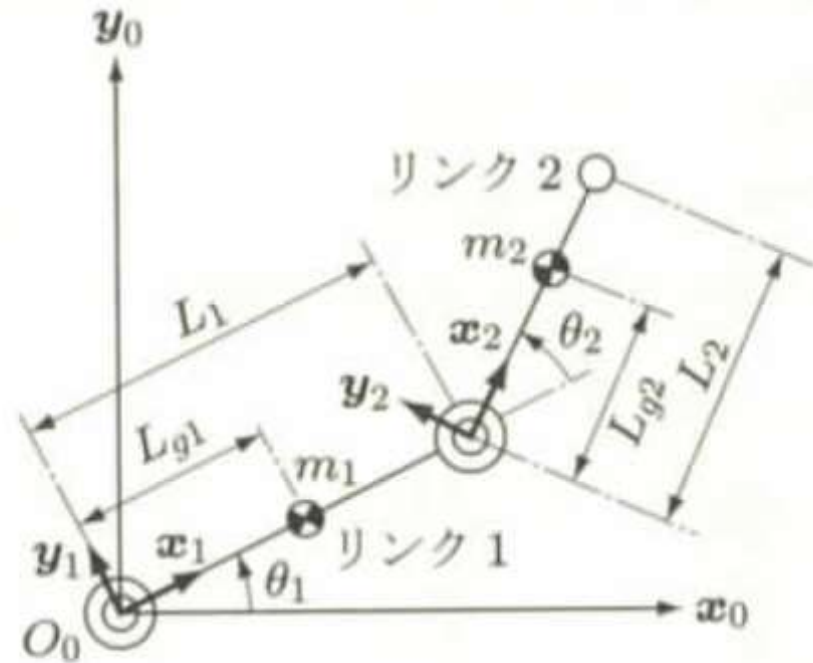


図 5.2 2 関節

ポテンシャルエネルギー  
第1リンク

$$P_1 = m_1 g L_{g1} \sin \theta_1$$

第2リンク

$$P_2 = m_2 g (L_1 \sin \theta_1 + L_{g2} \sin(\theta_1 + \theta_2))$$

上記の $K_i$ ,  $P_i$ を用いて, Lagrangeの運動方程式として,  
2リンクロボットのダイナミクスが得られる. (教科書 p.81~83)

# 多リンクロボットの運動方程式（参考）（例5.1）

## 2リンクロボットの例

$m_i$  : リンク $i$ の質量

$L_i$  : リンク $i$ の長さ

$L_{gi}$  :  $\Sigma_i$  座標系原点からリンク $i$ の質量中心（重心）までの距離

$\hat{I}_i$  : 質量中心まわりのリンク $i$ の慣性モーメント

$g=(0, -g, 0)^T$  : 重力ベクトル

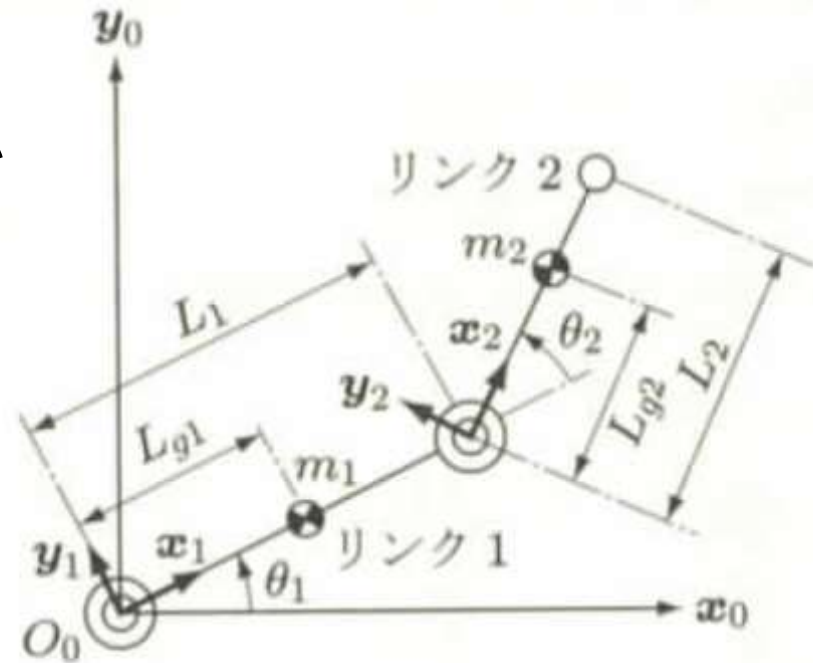


図 5.2 2 関節

$$\frac{d}{dt} \left[ \frac{\partial L}{\partial \dot{q}_i} \right] - \frac{\partial L}{\partial q_i} = \tau_i$$

同様の力学解析により，多リンクロボットの運動方程式も導出可能

# 2リンクロボットのダイナミクス（参考）

$$\begin{aligned}
 \begin{bmatrix} \tau_1 \\ \tau_2 \end{bmatrix} &= \underbrace{\begin{bmatrix} I_1 + I_2 + 2m_2 L_1 L_{g2} \cos \theta_2 + m_2 L_1^2 & I_2 + m_2 L_1 L_{g2} \cos \theta_2 \\ I_2 + m_2 L_1 L_{g2} \cos \theta_2 & I_2 \end{bmatrix}}_{\text{慣性行列}} \begin{bmatrix} \ddot{\theta}_1 \\ \ddot{\theta}_2 \end{bmatrix} \\
 &\quad + \underbrace{\begin{bmatrix} -m_2 L_1 L_{g2} \sin \theta_2 (2\dot{\theta}_1 \dot{\theta}_2 + \dot{\theta}_2^2) \\ m_2 L_1 L_{g2} \sin \theta_2 \dot{\theta}_1^2 \end{bmatrix}}_{\text{遠心力・コリオリ力の項 (非線形項)}} \\
 &\quad + \underbrace{\begin{bmatrix} (m_1 L_{g1} + m_2 L_1) \cos \theta_1 + m_2 L_{g2} \cos(\theta_1 + \theta_2) \\ m_2 L_{g2} \cos(\theta_1 + \theta_2) \end{bmatrix}}_{\text{重力項}} g
 \end{aligned}$$

# 多リンクロボットのダイナミクス（一般形）



慣性項

遠心・コリオリ力の項  
(非線形項)

重力項

関節トルク

別の表記（有本流）

$$M(\mathbf{q})\ddot{\mathbf{q}} + \frac{1}{2}\dot{M}(\mathbf{q}) + S(\mathbf{q}, \dot{\mathbf{q}})\dot{\mathbf{q}} + \mathbf{g}(\mathbf{q}) = \boldsymbol{\tau}$$

上記の  $\mathbf{h}(\mathbf{q}, \dot{\mathbf{q}})$  と全く同じ

(参考) 1リンクロボットのダイナミクス

$$I\ddot{\theta} + mgl_g \cos \theta = \tau$$